

1 主題構成表

主題名 やさしい ころ

資料名 はしの うえの おおかみ

<p>■内容項目 B 親切, 思いやり 身近にいる人に温かい心で接し, 親切にすること。</p>	<p>■内容項目から見た児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「よいこと見つけ」では, 自分が友達にしてもらって嬉しいことや友達が優しくしている姿を「ぼかぼか」と捉え, 親切について意識している。</li> <li>・相手の立場や気持ちがどうであるかを考えることなく, 自分の思いだけで行動してしまうことがある。</li> <li>・意地悪をしてしまったり, 友達が困っていることに気付くことができなかつたり, 気付いても助けることができなかつたりする児童もいる。</li> </ul>	<p>■資料の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本教材は, 一本橋を渡ってくる自分よりも弱い動物たちに意地悪をして楽しんでいたおおかみが, 自分より大きいくまに対して「おさきにどうぞ。」と譲ろうとする。ところが, 体も大きく, 力も強いくまが, おおかみに対して少しも威張らずに, 優しい行為で接する。親切にされたおおかみは, 今までの自分の行為を反省し, くまにあごがれをもち, 自分も小さい動物たちに親切にしようとする内容である。</li> <li>・おおかみの考えや気持ちに焦点をあてて, 意地悪をしている時と, 親切にされた後のおおかみの言動や気持ちの変化を考えたり, 比較をしたりすることを通して, 人に親切にすることは, 相手だけでなく, 自分も気持ちがよいものであることに気付かせ価値理解を図る。</li> <li>・おおかみの気持ちの変化を追いながら, 仲間や幼い者に対して意地悪をせず, 親切にしようとする意欲を高めたい。</li> </ul>
<p>■ 価値の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に対する思いやりの心をもち親切にすることは, よりよい人間関係を築く上で求められている基本的姿勢である。自分のことばかりを考えたり, 自分の思いだけを主張したりしては望ましい人間関係を構築することはできない。互いが相手に対して思いやりの心をもって接することが不可欠である。</li> <li>・思いやりとは, 相手の気持ちや立場を自分のことに置き換えて推し量り, 相手に対してよかれと思う気持ちを相手に向けることである。そのためには, 相手の立場を考えたり相手の気持ちを想像したりすることを通して, 励ましや援助をしたり, 時には相手のことを考えて温かく見守ったりする姿勢が求められる。相手のことを親身になって考えようとする態度を育ていきたい。</li> <li>・この時期においては, 幼い人や高齢者, 友達など身近にいる様々な人々との触れ合いの中で, 相手のことを考え, 優しく接することが求められる。また, その結果として相手の喜びを自分の喜びとして受け入れられるようにし, 具体的に親切な行為ができるようにすることが大切である。</li> </ul>	<p>(要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰にでも親切にした方がよいことは理解している。</li> <li>・親切はよいことであり, 親切にすれば友達がたくさんでき, みんなと仲良くできるよくなると思っている。</li> <li>・自己中心的な傾向が強く, 相手の気持ちを自分のことに置き換えることができない発達段階にある。</li> </ul>	

■ねらい  
おおかみの考えや気持ちの変容について考えることで, 相手のことを考え, 優しく接すると, 相手も自分もうれしくなることに気づき, 身近にいる人に親切にしようとする意欲を高める。

■研究内容に関わって

【研究内容Ⅱ】仲間と考えを深め合い, 自分自身を見つめることができる道徳授業のあり方  
(1) 児童の学習状況を具体的に描いた指導と評価の一体化

- ・深めの発問で, 表情カードを使っておおかみやうさぎの気持ちを比べることで, 相手が喜ぶと自分もうれしいという思いやりのもととなる心に気付かせ, 相手の気持ちを考えながら親切にしていこうという意欲を高められるようにしていく。

